

# 東洋館ツアーボランティア WEB新聞

東洋館ツアーは東洋館にあるアジアの作品のガイドをしているグループです。  
休止中の展示室のガイドに代わって「博物館でアジアの旅・空想動物園」  
(2021年9月14日～10月17日)の期間中に東洋館で展示されている作品から  
メンバーのオススメをご紹介します。



『如来三尊仏龕』中国陝西省西安宝慶寺  
唐時代・8世紀 1階1室

1室に入って右側にずらりと並ぶ三尊仏龕。  
13面あり、「全部同じでは？」という声が聞こえそう  
ですが、同じなのは、3体セットで真ん中が如来とい  
う構成だけ。

「間違い」ならぬ「違い」探しを  
楽しんでみては。

(担当: Joe)



『舍利容器』中国・伝スバシ 6～7世紀 2階3室  
展示期間: 9/14～10/31

部屋に入って鮮やかな赤い作品を見つけたら可能な限り近づいて表面  
の模様をよく見てください。

不思議な動物や羽の生えた人物が遠い異国へ連れて行ってくれます。

この舍利容器はまぎれもなく東洋館のスター★の一つ。  
お見逃しなく!



(担当: H)



『有翼人物像』中国・ミーラン 3～4世紀 2階3室  
展示期間: 9/14～10/31

タクラマカン砂漠のオアシス都市ミーランにある遺跡で  
発見された有翼人物像です。少年のような顔つきで顔の両  
側に少しだけ翼が見えます。まるでギリシャ神話画に描か  
れる天使のようです。シルクロードを通じての東西文化の  
融合が窺えます。大谷探検隊将来品を展示した小部屋にあ  
ります。



(担当: W)



『石彫 怪獣』伝中国河南省安陽市殷墟出土  
殷時代・前13～前11世紀 3階4室

丸く、コロンとして、愛らしい。目や鼻、口に耳と足もあります。

河馬のようにも、子供の水遊びジョウロのようにも見えます。

守り神や魔除けに使われたのでしょうか。

東洋館4室で門番のように、怪獣が皆様を出迎えます。



(担当: KN)



『仙人騎鳥獣八稜鏡』中国 唐時代・8世紀 3階5室

角のある花みtainな形で可愛い鏡です。

中のデザインは仙人が想像上の鳥や馬のような動物に乗って  
います。

中心の紐を通す「鈕」の部分も動物がうずくまっているように  
見えて可愛くてお気に入りの作品です。



(担当: RT)



『饗饗文甗』中国 殷時代・前13～前11世紀  
3階5室

儀式の際に水や酒を入れたこの容器は金色に輝いていました。  
表面には2つの角を持つギョロツとした目の「饗饗」の文様があり輝く容器は参列した人々を驚かせたことでしょう。  
光は失われていますが精巧に作られたこの容器には風格があり圧倒されます。



(担当：E)



『藍地黄彩龍文合子』中国・景德鎮窯「大明嘉靖年製」銘  
明時代・嘉靖年間(1522～66年) 3階5室 展示期間：～11/7

体をくねらせながらノリノリで踊っているように見える龍の顔は少し強面だけど、よく見ると長いまつげ。  
周りの龍たちのとぼけたお顔。  
みんな、なんだか愛嬌があって、いくらでも見ていられます。



(担当：U)



『五彩龍鳳文面盆』中国・景德鎮窯「大明万曆年製」銘  
明時代・万曆年間(1573～1620年) 3階5室 展示期間：～11/7

白地に赤、黄、緑、青の鮮やかな色彩とびっしり描きこまれた文様が目を引きまします。

高貴な動物である鳳凰と龍が軽やかに空を舞っているようです。  
酒器を温めるのに使ったといわれる面盆。  
この面盆で温められたお酒は美味だったことでしょう。



(担当：I)



《詳細図》

『画像石 鳳凰』中国山東省孝堂山下石祠  
後漢時代・1～2世紀 3階6室

画像石展示の最初に階段下で出迎えられる鳳凰。  
4種類のデザインはどれも個性的です。  
東洋館にはこの他にも『五彩龍鳳文面盆』の鳳凰など鳳凰がたくさんいます。  
また、日本の1万円札にも鳳凰が居ます。  
どの表現がお好みですか？



(担当：E)



『饗饗七宝白』中国 清時代・19世紀  
5階9室 展示期間：9/7～12/5

鮮やかな色使いがとても印象的な作品です。  
清時代の作品ですが、カラフルな七宝で表されたデザインは古代の青銅器にみられる獣面文「饗饗」。  
心惹かれるデザインに、時代は関係ないのかもしれない。



(担当：0)

